



OFIX公式キャラクター
ボラちゃん

T O P I C S

- ・「語学ボランティア」OFIXの取り組み
- ・在住外国人の皆さんの災害時の困りごとはなんですか？
- ・今後の相談会のご案内

「語学ボランティア」OFIXの取り組み

OFIX語学ボランティア制度の目指すものは？



外国人が日本で安全・安心に生活するにあたり支障になるものの一つに、言葉の壁があります。来日して日が浅い場合や、話の内容が専門的であるなどの場合には、特にその壁が高く感じられます。語学ボランティアの方々には、行政情報の翻訳や、情報交換・伝達の必要な場面での通訳などをお願いしています。ご自身がお持ちの言語スキルを他所のために活用していただくことで、自己有用感も高まり、同じ地域に暮らす住民同士の相互理解にも繋がることを願っています。

コミュニティ通訳としての活動



ベトナム語、ネパール語、タイ語の需要

OFIX語学ボランティアの登録者数は、11月末で合計270名です。登録言語は、英語が126名と最も多く、次に中国語の60名です。少人数ではありますが、ネパール語、タイ語、フィリピン語、ミャンマー語、アラビア語といった言語の登録があるのが特徴です。

主な活動内容は、子ども家庭センターや学校など、公的機関での通訳です。これらは地域住民にとって必要なことからコミュニティ通訳と呼ばれています。発達相談の通訳、子どもと保護者の面接での通訳などが多く、まさに多文化共生社会における不可欠な存在です。依頼が多い言語は、従来の中国語に加え、ベトナム語、ネパール語、タイ語で、大阪府で増える外国住民を反映しているようです。

(裏面のグラフ参照)



8月25日(月)
コミュニティ通訳・翻訳研修の様子
(座学)



コミュニティ通訳・翻訳研修

コミュニティ通訳者を育成するため、語学ボランティア登録者やこれから活動してみたい方などを対象に8月に研修会を開催しました。通訳の役割や倫理についての講義と英語・中国語で通訳演習をしました。参加者からは専門用語が混じる文章の通訳が難しかったとのコメントがありました。活動や研修を通じてスキルを磨き、外国人の暮らしを言語でサポートする伴走者が増えればと思います。



8月25日（月）
コミュニティ通訳・翻訳研修の様子
（グループワーク）

派遣先の反響・反応

語学ボランティアの派遣先である子ども相談センター、女性センター、学校などからOFIX語学ボランティア制度で派遣された事案について、下記のようなフィードバックをいただいています。

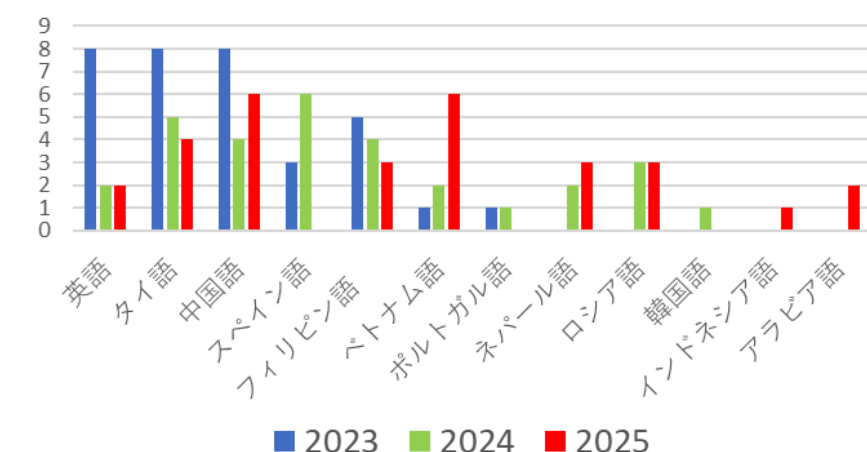
【子ども家庭センターから】

- 意図や文脈を組んで通訳してくれたおかげで円滑にやり取りできた。保護者も日本語では言い表せないことを母国語で話せるので安心できた。
- 感情のやり取りをする場面でも丁寧に訳していただき、スムーズに面接することができた。
- 保護者は最初緊張していた面持ちだったが、通訳者のおかげで落ち着いて話せていたようだった。

【女性相談センターから】

- 難しい内容にもかかわらず、本人に寄り添いながら丁寧に通訳してもらった。
- 法律、行政、医療に関する専門用語が混じった書面の説明では、言葉を調べながら対応してもらい、内容を理解しながら進めることができた。
- 本人の様子を見ながら適宜通訳してもらった。機会があればまた依頼したい。

語学ボランティア 言語別推移



＊2023年から2025年（12月まで）の子ども家庭センター・女性相談センター・学校からの依頼のみを抜粋

在住外国人の皆さんの災害時の困りごとはなんですか？

OFIXニュース112号から始まったシリーズの4回目
今回は、語学ボランティアとしてご活躍の、フィリピン出身、オノダ グンデリーナ
さんにインタビューしました。

シリーズ OFIXボランティア インタビュー ★その4★
(OFIX外国人サポーター オノダ グンデリーナさん)



自分が学習した防災知識を伝えていきたい

-災害の経験はありますか？

今から30年前、観光客として初めて日本に来た初日に、大阪のホテルで阪神淡路大震災に遭遇しました。フィリピンでは地震を経験したことがなかったのでとにかくびっくりしました。早朝、ホテルのTVが倒れ、シャンデリアが大きく揺れるのをみて、パニックになったのを覚えています。

-その後日本に住んで22年になるそうですが、どのような準備をしていますか？

災害防災アプリをダウンロードし、テレビやラジオではなく、スマホのニュースに注目しています。大阪880万人訓練や地元の防災訓練にも参加しました。長期保存できる食料品と2～3日分の水を常備し、重要書類や貴重品をまとめておく、少額の現金などの準備をしています。

-災害に備え、一番気をつけていることは何ですか？

とにかく落ち着くことだと思います。これまでも防災訓練に参加してきたことも背景にあるのですが、地震がきたら、テーブルの下にもぐり、ドアを開けておくこと。そして自分自身だけでなく周りの人にも気を配りたいです。

阪神淡路大震災
を経験しました！



オノダさんはフィリピン出身。
5人のお子さんのお母さんです。

オノダさんのインタビューの
詳細はnoteをご覧ください。
https://note.com/ofix_jp



やさしい日本語ミニレッスン

災害時は普段使用しないような言葉がたくさんあります。今回は避難所で使用される場面を想定して、外国人には伝わりにくい言葉を紹介します。

※避難所など災害時によく使われることばや、知っておいた方がよいと思われる言葉はそのまま使用し、その言葉の後に説明や、()をつかって言い換えを表記するといいいでしょう

1避難所→ 地震(じしん)や台風(たいふう)で 家(いえ)が危(あぶ)ない人(ひと)が
逃(に)げるところです。学校(がっこう)の 体育館(たいいくかん)などです。

2炊き出しが配られます。→食(た)べもの が もらえます。

3土足厳禁→靴(くつ)を 脱(ぬ)いで ください。



相談会・研修会のご案内

OFIX 外国人のための専門相談会 要予約

(電話：06-6941-2297, e-mail: jouhou-c@ofix.or.jp)

場所：マイドームおおさか5階

相談日時、内容：

- ・労働相談
2/6(金) 1:30pm~5:30pm、2/19(木) 6:00pm~8:00pm
3/6(金) 1:30pm~5:30pm、3/19(木) 6:00pm~8:00pm
- ・行政書士相談
1/23(金) 6:00pm~8:00pm、3/27(金) 6:00pm~8:00pm
- ・法律相談
2/15(日) 1:00pm~5:00pm、3/15(日) 1:00pm~5:00pm
- ・入管相談
2/13(金) 1:30pm~5:30pm、3/13(金) 1:30pm~5:30pm
- ・臨床心理士(心の)相談
2/27(金) 6:00pm~8:00pm

対応言語：11言語

相談形式：対面、オンライン、電話も可

※臨床心理士(心の)相談は、対面のみ

外国人のための無料相談会

茨木市・大阪府国際交流財団 (OFIX) 共催

日時：2026年2月22日(日)

9:00am~12:00pm

(受付は11:30amまで)

場所：茨木市役所 南館1階 市民生活相談課

参加費：無料

方式：対面

言語：やさしい日本語、英語、中国語、ベトナム語
その他の言語は翻訳機を使います。

相談時間：1回30分

問い合わせ先：茨木市市民文化部 人権・男女共生課

☎ 072-620-1640

✉ jinken@city.ibaraki.lg.jp

予約をしてください。予約が空いているときは
予約なしでも相談できます。

編集後記 今回は、31年前に起こった阪神淡路大震災がきっかけで防災意識が高まったという
OFIX外国人サポーターの方の話を聞いて、改めて災害に備えることの大切さが身に染みて
感じられました。決して忘れることなく日々の備えを続けていきたいと思います。

OFIX賛助会員募集中！

法人1口年額50,000円 個人1口年額3,000円

<https://www.ofix.or.jp/donate/>

- ◆OFIX発行の印刷物、報告書その他の刊行物を無償又は優先的に提供
- ◆OFIXの事業活動や国際交流に関する情報等を掲載した「OFIXニュース」(季刊)や報告書(年1回)の送付
- ◆OFIXホームページバナー広告無料掲載(法人会員様)

※公益財団法人に対する寄附金の税法上の優遇措置適用法人

OFIXホームページ バナー広告募集中！

<https://www.ofix.or.jp/banners/>

JICA大阪デスク@OFIX

OFIX事務所に「JICA大阪デスク」を設けています

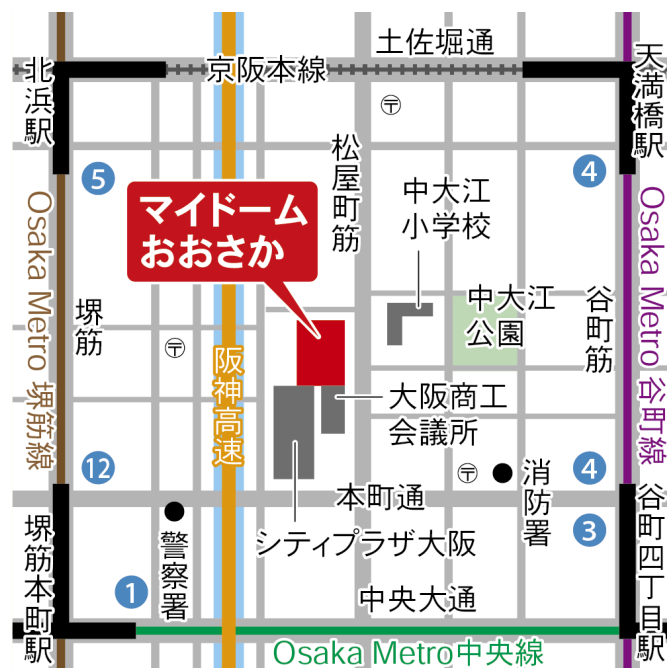
Tel: 06-6966-2400

Email: jicadpd-desk-osakafu@jica.go.jp



OFIXニュースへの感想、ご意見等お待ちしております
info@ofix.or.jp

アクセス



公益財団法人大阪府国際交流財団(OFIX)

〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-5

マイドームおおさか5階

TEL: 06-6966-2400 FAX: 06-6966-2401

Email: info@ofix.or.jp